

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科			看護学科		科 目 区 分		専門分野		授業の方法		講義演習		
科 目 名			セルフマネジメントと看護			必修/選択の別		必修		授業時数(単位数)		30 (1) 時間(単位)	
対 象 学 年			2学年			学期及び曜時限		前期		教室名		新館2.3階	
担 当 教 員			青 美智子		実務経験と その関連資格		救急看護認定看護師						
《科目目標》 セルフマネジメントが必要な慢性病および生活習慣病をもつ成人を対象として、治癒過程の支援や療養生活支援/管理について理解する 傷害のある人の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、生活の再構築への援助について理解する													
《成績評価の方法と基準》 【評価方法】終講試験(100%) 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満													
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ナーシング・グラフィカ 成人看護学③セルフマネジメント 株式会社メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 疾患と看護①呼吸器 株式会社メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 疾患と看護②循環器 株式会社メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 疾患と看護③消化器 株式会社メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 疾患と看護④血液/アレルギー・膠原病/感染症 株式会社メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 疾患と看護⑤脳・神経 株式会社メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 疾患と看護⑦運動器 株式会社メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 疾患と看護⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝 株式会社メディカ出版													
《授業外における学習方法》 指定した教科書を事前に読んでおくこと 授業終了時に示す課題を実施し、前回授業内容について復習をしておくこと													
《履修に当たっての留意点》 グループワーク、意見交換や学びの確認・共有時間には活発に自分の思いを表現していくようにして下さい。授業に関するレポートを提出する場合は、提出期限・提出時間を守って下さい。遅れての提出は、受け付けません。授業での課題は点数化しますので守らなければ点数加算されないことを理解して下さい。													
授業の方法			内 容					使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容			
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	セルフマネジメントにおいて看護職に求められる能力と責任について知る					成人看護学 ③P.16～87	教科書の該当箇所を読んで予習し、また成人看護学概論で学んだ内容の復習をして授業に臨む				
		各コマにおける授業予定	1. セルフマネジメントについて看護学概論での学習を振り返る 2. セルフマネジメントを支える諸理論について										
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	セルフマネジメントを推進する看護方法を知る					成人看護学 ③P.90～111	教科書の該当箇所を読んで予習し、また成人看護学概論で学んだ内容の復習をして授業に臨む				
		各コマにおける授業予定	対象理解、援助方法、評価の仕方について理解する										
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	糖尿病とともに生きる患者のセルフマネジメント支援を理解する					成人看護学 ③P.112～124 疾患と看護 ⑧内分泌・代謝	教科書の該当箇所を読み、予習して授業に臨む 病態・治療に関しての復習をしておく				
		各コマにおける授業予定	糖尿病とともに生きるセルフマネジメント支援 1. 糖尿病の病態生理の復習 2. 糖尿病のある患者に必要とされるマネジメント 3. 事例を通して、糖尿病の患者のセルフマネジメントを支援する看護方法を学ぶ										
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎不全とともに生きるセルフマネジメント支援を理解する					成人看護学 ③P.126～143 疾患と看護 ⑧腎/泌尿器	教科書の該当箇所を読み、予習して授業に臨む 病態・治療に関しての復習をしておく				
		各コマにおける授業予定	腎不全とともに生きる患者のセルフマネジメント支援 1. 腎不全の病態生理の復習 2. 腎不全のある患者に必要とされるマネジメント 3. 事例を通して、腎不全の患者のセルフマネジメントを支援する看護方法を学ぶ										
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	肝硬変をもつ人に必要とされるマネジメントを理解する					成人看護学 ③P.164～177 疾患と看護 ③消化器	教科書の該当箇所を読み、予習して授業に臨む 病態・治療に関しての復習をしておく				
		各コマにおける授業予定	肝硬変とともに生きるセルフマネジメント支援 1. 肝硬変の病態生理の復習 2. 肝硬変のある患者に必要とされるマネジメント 3. 事例を通して、肝硬変の患者のセルフマネジメントを支援する看護方法を学ぶ										